



としょかんだより

宇都宮市立昭和小学校 一令和6年6月号 一



だいせつ 大切なお知らせ



ぞうしょてんけん 蔵書点検について

が づ か げ つ が づ か き ん
6月24日(月)～7月5日(金)

ぞうしょてんけん としょしつ りょう
蔵書点検のため、図書室が利用できません

ほんがそろっているか、ちがう本だに入っていないか、図書室にあるすべての本のバーコードを、一冊ずつ読み取っていきます。本の位置が動いてしまうと正しい点検ができなくなってしまいますので、

点検のあいだは図書室に入れません。

が づ に ち げ つ に ち き ん
6月17日(月)～21日(金) は、

ぞうしょてんけんまえ とくべつかしだし ひとりに さつほん か
蔵書点検前の特別貸出として、一人4冊本が借りられます

(親子読書カードが終わった人は5冊)。

きょういくそうだんきかん ひるやす かしだし おこな
教育相談期間の昼休みは貸出のみ行います(3～6年生)。

へんきやく が づ に ち に ち
返却は7月10・11日です(1.2年生は授業で来た時)。



ぞうしょてんけん
蔵書点検のあいだは、本が借りられません。いつもより少し長めの本を借りてみるとういいますよ。

そろそろ梅雨の季節に入ります。雨の日のお楽しみといえば、読書ですね！
雨音に耳を傾けながら本を読むといつもより集中して本の世界に入り込めそうです。図書室では「ブックトラッカー」を置いてあります。より1行1行集中して読みたい時に使ってみてくださいね。



6月15日は「栃木県民の日」です。

そこで今月のテーマは「とちぎの妖怪」です！

さてどんな妖怪がみんなのそばにいますか？



「親と子で語るうつのみやの民話」より 吉成和子 随想舎
その鬼は秀郷という武士に討たれた後、400年後の埴田村の本願寺に現れた。一説には百の目を持つと言われ「百目鬼」とよばれる。



「妖怪の日本地図 関東」より 千葉幹夫 大月書店
栃木県で現れる妖怪がマップですぐわかる！雷とともに落ちてくる「ライシュウ」。那須野が原の殺生石に閉じ込められた「九尾のキツネ」など有名な妖怪のくわしい説明もあります！



「きんいろのきつね」 大川悦生 ポプラ社
「九尾のキツネ」の物語。中国、インドで悪さをして日本へ渡ってきたこのキツネ。都の帝の元を追われなぜ那須にやって来たのか？

おひさまによる
読み聞かせが
始まりました！



5月10日(金)の朝の時間に、
おひさまのみなさんが読み聞かせを
してくださいました。近くで聞いて
くれたみんなが笑ったり、驚いたり
する表情が良くわかり、とても楽し
く読めたそうです！



—今年度もどんな絵本に出会えるか楽しみです—

6月の読み聞かせ
7日(金)の朝の時間 各教室
18日(火)のお昼休み 図書室
(教育相談期間ですが実施します。)



第70回 **青少年読書感想文全国コンクール**

主催 / 公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援 / 文部科学省・こども家庭庁 協賛 / サントリーホールディングス株式会社

かだいとしょ **課題図書**

ていがくねん ぶ **低学年の部**

「アザラシのアニュー」 あずみ 虫作 童心社



タテゴトアザラシの赤ちゃんがたった1頭で北極の海をめぐる物語。野生の動物が自然の中での生き残りをかけた冒険が始まります。応援しながら読んでみよう！

「ごめんねでてこい」 ささきみお 文研出版



おばあちゃんは少しうるさい。だってともだちまで注意して！もう遊びに来てくれないかも。だから思わずおばあちゃんに「きれい」って言っちゃった。素直にあやまらない私。どうしたらいいかな・・・。

「おちびちゃんじゃないよ」

マヤ・マイヤーズ 作 イマジネーションプラス



テンちゃんは体の小さい女の子。みんなは「おちびちゃん」だから何もできないと思っている。そんなことはない！いじめっこにだってまけないんだから！

「どうやってできるの？チョコレート」

小林弘作 作 ひさかたチャイルド



チョコレートの原料のカカオは遠い国から船に乗ってやってくる。それからどうやって加工されていくのかな？工場に潜入してそのひみつを探てよう！

ちゅうがくねん ぶ **中学年の部**

「いつかの約束1945」 やまもとあきこ 作 岩崎書店



その泣いているおばあちゃんは「あたし関根さん9歳。」だという。これは誰かの心と入れ替わったのではと町中を探すゆきなたち。最後の奇跡にたどりつくまで一緒に読み進めてみてください！

「じゅげむの夏」 もがみいづべい 作 佼成出版社



夏休みに4人は筋ジストロフィーのかっちゃんやりたいことを叶える冒険をすることに決めた！最初は熊と戦った熊吉さんに会いに行くこと。恐る恐る近づいてみるとそこには意外な風景が・・・。

「さようなら プラスチックストロー」

デー・ロート 文 光村教育図書



今から5千年前に発明されたストロー。その長い歴史の中で改良されプラスチック製となった今、その廃棄をめぐって大きな環境問題となっている。自分には何ができるか考える一歩に！

「聞いて聞いて！音と耳のはなし」 たかつおさむ 福音館書店



「音を聞くこと」そのしくみを考えたことがありますか？自然に耳に届く音を、実は脳が選んで耳に届けていたら？そんなふしぎな音と耳のつながりを楽しく学ぶことができます。

こうがくねん ぶ **高学年の部**

「ぼくはうそをついた」 西村すぐり 作 ポプラ社



広島に住む5年生のリョウタは原爆で亡くなった大祖父の話聞き、今でも消えない戦争の傷を負った人たちのことを考えるようになった。そんな時に出会ったタヅさんについてうそとは？

「ドアのむこうの国へパスポート」

ドンケ・ドラフト・リンデル・クロムハルト 作 岩波書店



その作家の家にあるはなぞめいたドア。ドアのむこうは特別なパスポートを持った人しか入れない。ラウレンゾーたちはドアのむこうを目指し、作家のなぞとに挑み続けます。いったい何があるのでしょうか？

「海よ光れ！」 田沢五月文 国土社



東日本大震災直後から避難所になった大沢小学校。今ここで避難している人たちに何ができるか？小学生の児童たちが自分たちで考え行動し避難所の人々に希望を与えたつづけた記録です！

「図書館がくれた宝物」 ケイト・アルバス 作 徳間書店



戦時中ロンドンから疎開した両親のいないきょうだいが苦労を重ねながら「ほんとうの親」になってくれるひとさがもて。しかしこの人ならと思った親切な司書のミユラーさんは何か秘密を抱えていました。

としょじつ かだいとしょ 図書室の課題図書コーナーにあります！
ひとり さつ かしだし はや かえ 1人1冊の貸出です。早めに返しましょう。

